

公社債投信(第2回)

運用報告書(全体版)

第54期(決算日2015年2月19日)

作成対象期間(2014年2月20日~2015年2月19日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/国内/債券
信託期間	無期限とします。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保を目指して安定運用を行います。また、各前期末までに金利水準、想定されるポートフォリオのインカム収入等を基に、各期の目標分配額を定め、その目標分配額の実現を目指して運用を行うことを基本とします。
主な投資対象	円建ての公社債(国債、政府保証債、地方債、金融債、事業債等)を主要投資対象とします。
主な投資制限	外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	年1回決算を行い、決算日の分配前の基準価額が元本(1万口当たり1万円)を超過する分を原則として全額分配します。決算日の分配前の基準価額が元本を下回っている場合、分配を行いません。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104

〈受付時間〉営業日の午前9時~午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近3期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価 額			新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	債組入比率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金			
	円	円 銭		%	%	%	百万円
52期(2013年2月19日)	10,000	13.30		0.1	—	93.1	47,771
53期(2014年2月19日)	10,000	9.06		0.1	—	93.4	44,421
54期(2015年2月19日)	10,000	7.92		0.1	—	69.9	41,358

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドは、決算時の元本の安定性に最大限配慮しつつ、その目標分配額の実現を目指して運用を行うことを基本としており、ベンチマーク等はありません。

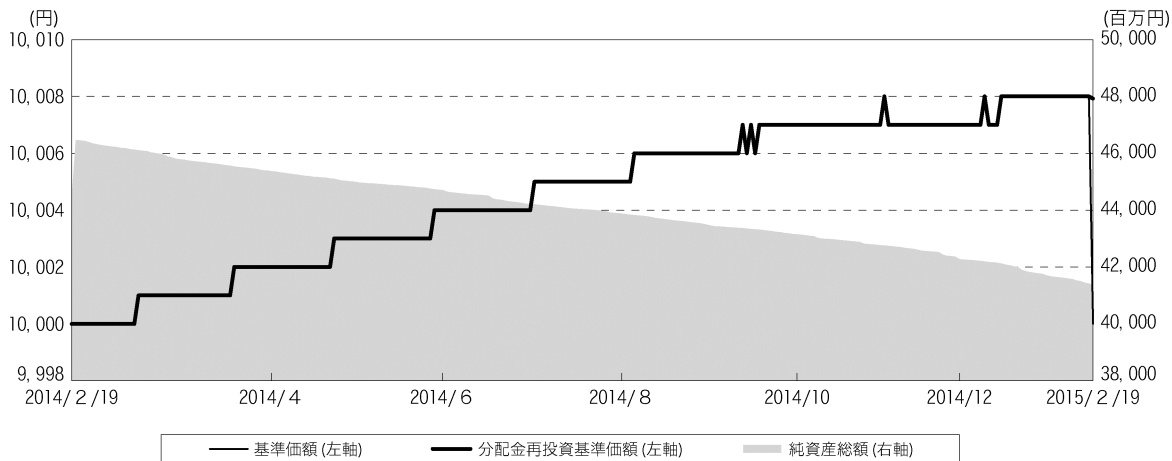
○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	債組入比率	券 率
		騰 落	率			
(期 首)	円 銭		%	%		%
2014年2月19日	10,000		—	—		93.4
2月末	10,000		0.0	—		93.7
3月末	10,001		0.0	—		94.0
4月末	10,002		0.0	—		95.3
5月末	10,003		0.0	—		96.1
6月末	10,004		0.0	—		96.7
7月末	10,005		0.1	—		95.4
8月末	10,005		0.1	—		96.1
9月末	10,006		0.1	—		92.3
10月末	10,007		0.1	—		90.9
11月末	10,007		0.1	—		85.1
12月末	10,007		0.1	—		83.0
2015年1月末	10,008		0.1	—		68.0
(期 末)						
2015年2月19日	10,007.92		0.1	—		69.9

*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首：10,000円
 期末：10,000円（既払分配金（税込み）：7円92銭）
 騰落率：0.1%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2014年2月19日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

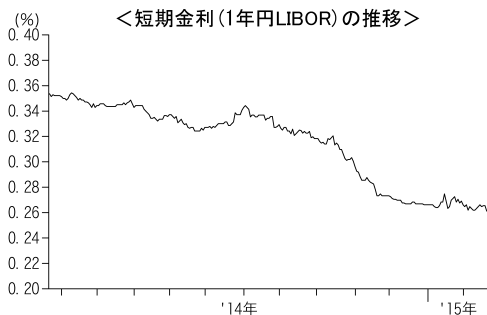
(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

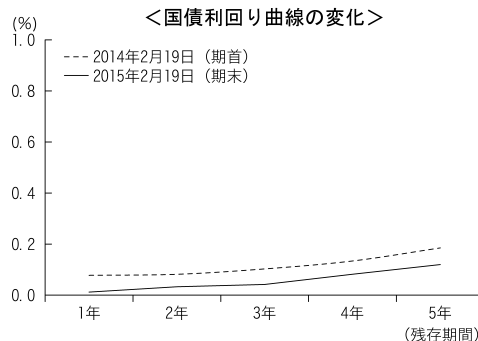
* 基準価額は0.08%の上昇

基準価額は、ポートフォリオのインカム（利子）収入などにより、期首 10,000 円から期末 10,007.92 円（分配金込み）に 7.92 円の値上がりとなりました。

○投資環境



* 短期金利として、代表的な1年の円短期金利の指標である1年円LIBORの水準を示しています。LIBORとはLondon Inter-Bank Offered Rateの略で、ロンドンのユーロ市場での銀行間取引における金利のことです。



* 債券利回りの低下は債券価格が上昇したことを示し、逆の場合は下落したことを示します。

- (1) 期首は0.08%であった1年物国債金利(1年金利)は、2014年3月にかけては日銀による短期国債買い入れ額増加への期待等から0.04%台まで低下しました。4月に入ると金利は0.08%近辺まで上昇したものの、6月に実施された欧州中央銀行(ECB)のマイナス金利政策等により日本の金利にも低下圧力がかかり、9月上旬まで1年金利は概ね0.05%台で推移しました。その後、日銀による短期国債のマイナス金利での買い入れ等により、9月末にかけて1年金利は0.03%近辺まで低下しました。さらに世界的な景気に対する減速懸念の高まりや10月末の日銀の追加金融緩和の決定により、金利の低下が進み、12月下旬以降は1年金利は概ねマイナスで推移し、期末時点では0.01%となりました。
- (2) 1年円LIBOR(ロンドン銀行間取引金利)は、期首は0.35%の水準であったものの、ECBと米連邦準備制度理事会(FRB)、日銀による追加金融緩和策等の影響を受けて低下し、期末は0.26%となりました。
- (3) 国債利回り曲線(1年～5年)は、日銀による国債の継続的な買い入れにより全体的に低下しました。2014年6月から7月にかけてECBのマイナス金利政策等により日本の金利にも一段と低下圧力がかかりました。9月に入り、日銀の短期国債のマイナス金利での買い入れ等により金利は全体的に低下しました。その後、10月の世界的な景気に対する減速懸念の高まりや日銀の追加金融緩和策等から金利はさらに低下し、決算日時点では国債利回り曲線は期首の水準を下回りました。

○当ファンドのポートフォリオ

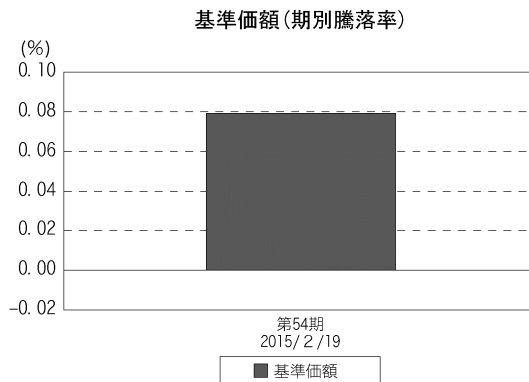
第2回「公社債投信」は、決算時の元本の安定性に最大限配慮し、目標分配額(第54期は1万口当たり5円程度)の実現を目指して運用を行ってまいりました。

- (1) 債券組入比率は、期中ほぼ70~100%程度で維持し、期末には69.9%となりました。A格以上の信用力の高い発行体が発行する債券を中心に組み入れると共に、残存期間の短い国債を中心に流動性を確保しました。
- (2) ポートフォリオのデュレーションは、期中0.2~0.7年程度を維持し、期末は0.48年としました。
- (3) 残存期間の長いユーロ円債、サムライ債(円建て外債)への投資は抑えました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、決算時の元本の安定性に最大限配慮しつつ、その目標配分額の実現を目指して運用を行うことを基本としており、ベンチマーク等はありません。

グラフは、作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

◎分配金

* 今期の分配金は7.92円

- (1) 分配方針に基づき、決算日の分配前基準価額の元本超過額を原則として全額分配します。今期の分配金は1万口当たり7.92円(年率0.08%、税込み)となりました。
- (2) 今期は、低金利環境が継続したものの、当初の想定よりも高い水準のスプレッド(国債との利回り格差)を持つ事業債等への投資により、高い利回りを享受することが出来たことがプラス要因となり、目標分配額の5円を上回る結果となりました。

◎今後の運用方針

今後の運用につきましては、決算時の元本の安定性に最大限配慮し、金利水準、想定されるポートフォリオのインカム収入などを基に定めた目標分配額(第55期は1万口当たり3円程度)の実現を目指して運用を行ってまいります(目標分配額通りの分配を保証するものではありません)。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○1万口当たりの費用明細

(2014年2月20日～2015年2月19日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 2	% 0.018	(a)信託報酬=1万口当たり元本×信託報酬率
(投 信 会 社)	(1)	(0.002)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(1)	(0.015)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(0)	(0.001)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	0	0.002	(b)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.001)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	2	0.020	
期中の平均基準価額は、10,004円です。			

*期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2014年2月20日～2015年2月19日)

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	1,000,340	3,500,140 (14,600,000)
	地方債証券	4,516,455	— (5,416,950)
	特殊債券	16,130,852	— (14,719,000)
	社債券(投資法人債券を含む)	10,325,234	— (6,100,000)

*金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

*単位未満は切り捨て。

*()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

*社債券(投資法人債券を含む)には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2014年2月20日～2015年2月19日)

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$	
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	31,972	685	2.1	3,500	—	—

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

(2015年2月19日現在)

○組入資産の明細

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
地方債証券	3,867,590 (3,867,590)	3,901,800 (3,901,800)	9.4 (9.4)	— (—)	— (—)	— (—)	9.4 (9.4)
特殊債券 (除く金融債)	10,210,000 (10,210,000)	10,275,333 (10,275,333)	24.8 (24.8)	— (—)	— (—)	— (—)	24.8 (24.8)
金融債券	4,400,000 (4,400,000)	4,410,151 (4,410,151)	10.7 (10.7)	— (—)	— (—)	— (—)	10.7 (10.7)
普通社債券 (含む投資法人債券)	10,300,000 (10,300,000)	10,319,846 (10,319,846)	25.0 (25.0)	— (—)	— (—)	— (—)	25.0 (25.0)
合 計	28,777,590 (28,777,590)	28,907,131 (28,907,131)	69.9 (69.9)	— (—)	— (—)	— (—)	69.9 (69.9)

* ()内は非上場債で内書きです。

* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* —印は組み入れなし。

* 残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	柄	当期末			
		利率	額面金額	評価額	償還年月日
地方債証券		%	千円	千円	
北海道	公募(5年)平成22年度第9回	0.47	200,000	200,591	2015/11/30
神奈川県	公募第135回	1.6	205,000	207,105	2015/10/28
大阪府	公募第283回	1.6	116,000	117,192	2015/10/28
大阪府	公募第284回	1.6	221,400	223,946	2015/11/27
静岡県	公募平成17年度第4回	1.6	291,150	294,142	2015/10/27
愛知県	公募平成17年度第4回	1.6	124,220	125,490	2015/10/27
愛知県	公募(5年)平成22年度第10回	0.255	200,000	200,252	2015/10/19
埼玉県	公募平成17年度第6回	1.6	100,000	101,145	2015/11/25
千葉県	公募平成16年度第8回	1.3	137,000	137,038	2015/2/25
千葉県	公募平成17年度第5回	1.6	200,000	202,010	2015/10/23
新潟県	公募平成17年度第2回	1.6	150,410	152,131	2015/11/24
群馬県	公募第2回	1.6	317,620	321,261	2015/11/25
群馬県	公募(5年)第1回	0.43	300,000	300,802	2015/11/25
共同発行市場地方債	公募第30回	1.3	200,000	201,439	2015/9/25
共同発行市場地方債	公募第32回	1.6	688,800	696,701	2015/11/25
熊本県	公募平成17年度第2回	1.6	115,990	117,181	2015/10/28
千葉市	公募平成17年度第2回	1.6	300,000	303,365	2015/11/20
小	計		3,867,590	3,901,800	
特殊債券(除く金融債)					
日本高速道路保有・債務返済機構承継	政府保証第346回	1.4	1,000,000	1,006,764	2015/8/26
日本高速道路保有・債務返済機構承継	政府保証第347回	1.3	1,000,000	1,007,265	2015/9/22
首都高速道路債券	政府保証第196回	1.3	460,000	460,092	2015/2/23
公営企業債券	政府保証第848回	1.3	800,000	800,172	2015/2/24
公営企業債券	政府保証第857回	1.6	400,000	404,866	2015/11/27
日本政策投資銀行債券	政府保証第9回	1.3	300,000	300,079	2015/2/25
東日本高速道路債券	政府保証第1回	1.6	123,000	124,479	2015/11/25
中日本高速道路債券	政府保証第1回	1.6	241,000	243,899	2015/11/25
西日本高速道路債券	政府保証第1回	1.6	306,000	309,681	2015/11/25
日本政策投資銀行債券	財投機関債第24回	1.65	1,000,000	1,008,661	2015/9/18
日本高速道路保有・債務返済機構債券	財投機関債第3回	1.64	100,000	101,269	2015/12/18
日本高速道路保有・債務返済機構債券	財投機関債第6回	1.65	200,000	202,556	2015/12/18
日本高速道路保有・債務返済機構債券	財投機関債第114回	0.116	1,000,000	1,000,188	2015/9/18
公営企業債券	第17回財投機関債	1.57	1,200,000	1,210,136	2015/9/24
首都高速道路社債	第7回	0.654	180,000	180,826	2015/12/18
阪神高速道路社債	財投機関債第6回	0.589	1,000,000	1,004,061	2015/12/18
福祉医療機構債券	第32回財投機関債	0.146	100,000	100,039	2015/12/18
成田国際空港	財投機関債第2回	1.66	800,000	810,291	2015/12/18
小	計		10,210,000	10,275,333	
金融債券					
商工債券	利付第718回い号	0.65	160,000	160,087	2015/3/27
商工債券	利付第726回い号	0.45	200,000	200,558	2015/11/27
商工債券	利付第727回い号	0.65	1,020,000	1,024,099	2015/12/25
農林債券	利付第725回い号	0.4	600,000	601,298	2015/10/27
農林債券	利付第726回い号	0.5	500,000	501,502	2015/11/27
農林債券	利付第727回い号	0.7	160,000	160,670	2015/12/25
しんきん中金債券	利付第253回	0.6	100,000	100,369	2015/12/25
しんきん中金債券	利付第254回	0.55	360,000	361,390	2016/1/27

銘	柄	当 期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
金融債券		%	千円	千円	
商工債券	利付(1年)第45回	0.08	600,000	600,000	2015/11/13
商工債券	利付(1年)第46回	0.08	200,000	200,000	2016/2/15
商工債券	利付(3年)第154回	0.2	100,000	100,087	2015/11/27
商工債券	利付(3年)第155回	0.2	400,000	400,087	2015/12/25
小	計		4,400,000	4,410,151	
普通社債券(含む投資法人債券)					
みずほコーポレート銀行	第23回特定社債間限定同順位特約付	0.43	1,100,000	1,102,252	2015/10/20
みずほコーポレート銀行	第24回特定社債間限定同順位特約付	0.595	600,000	602,379	2016/1/20
三菱東京UFJ銀行	第118回特定社債間限定同順位特約付	0.35	500,000	500,838	2015/10/15
三菱東京UFJ銀行	第139回特定社債間限定同順位特約付	0.16	500,000	500,040	2016/1/22
三井住友銀行	第51回社債間限定同順位特約付	0.35	400,000	400,700	2015/10/20
三井住友銀行	第52回社債間限定同順位特約付	0.56	900,000	903,569	2016/1/20
三井住友海上火災保険	第5回社債間限定同順位特約付	0.67	1,000,000	1,004,591	2016/1/27
オーストラリア・ニュージーランド銀行	第6回円貨社債	0.98	700,000	705,190	2016/1/21
ラボバンク・ネダーランド	第17回円貨社債(2012)	0.563	100,000	100,277	2015/11/2
MITSUBISHI UFJ LEASE & FINANCE		0.15875	300,000	300,000	2015/4/16
MEC FINANCE USA, INC.		0.17	500,000	500,000	2015/10/7
MITSUBISHI UFJ LEASE & FINANCE		0.1225	300,000	299,988	2015/10/26
MIZUHO INTERNATIONAL PLC		0.16	900,000	900,000	2015/11/6
MITSUBISHI UFJ LEASE & FINANCE		0.12375	800,000	800,012	2015/11/17
MITSUBISHI UFJ LEASE & FINANCE		0.11625	600,000	600,005	2015/12/8
MIZUHO INTERNATIONAL PLC		0.14	1,100,000	1,100,000	2015/12/14
小	計		10,300,000	10,319,846	
合	計		28,777,590	28,907,131	

*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

(2015年2月19日現在)

○投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 28,907,131	% 68.4
コール・ローン等、その他	13,350,048	31.6
投資信託財産総額	42,257,179	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年2月19日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	42,257,179,044
コール・ローン等	13,274,076,405
地方債証券(評価額)	3,901,800,747
特殊債券(評価額)	14,685,484,975
社債券(評価額)	10,319,846,006
未収利息	42,949,418
前払費用	33,021,493
(B) 負債	899,104,925
未払金	802,146,000
未払収益分配金	32,755,590
未払解約金	55,814,831
未払信託報酬	7,915,246
その他未払費用	473,258
(C) 純資産総額(A-B)	41,358,074,119
元本	41,358,069,299
次期繰越損益金	4,820
(D) 受益権総口数	41,358,069,299口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,000円

(注)期首元本額44,421百万円、期中追加設定元本額2,063百万円、期中一部解約元本額5,126百万円、計算口数当たり純資産額10,000円。

○損益の状況 (2014年2月20日～2015年2月19日)

項 目	当 期
	円
(A) 受取利息等収益	278,991,256
受取利息	278,927,866
その他収益金	63,390
(B) 有価証券売買損益	△235,244,744
売買益	475,543
売買損	△235,720,287
(C) 信託報酬等	△ 8,623,096
(D) 当期利益(A+B+C)	35,123,416
(E) 前期繰越損益金	36,752
(F) 解約差損益金	△ 2,399,758
(G) 計(D+E+F)	32,760,410
(H) 収益分配金	△ 32,755,590
次期繰越損益金(G+H)	4,820

*損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	7円92銭0厘
------------------	---------

○お知らせ

- ①運用報告書(全体版)について電磁的方法により提供する所要の約款変更を行いました。
<変更適用日:2014年12月1日>
- ②デリバティブ取引等に係る投資制限に関する所要の約款変更を行いました。
<変更適用日:2014年12月26日>
- ③第55期以降の目標分配額の参照金利水準を以下のようにする変更を行いました。
(旧「1年円LIBOR」→新「1年国債金利」)